

ふるさと歴史散歩 245

～松前史談会レポート～

国宝大宝寺と周辺巡り I

参加者一行は、車でまず朝日八幡神社(松山市南江戸町)へ向かう。近くの駐車場に車を停めて、参道石段を上ると開けた場所に朝日八幡神社がある。

社伝によると、持統天皇の代に仲哀天皇と神功皇后の行宮跡に足埴地主神を祭り、沼戸明神といわれていた。その後、山城国(京都府南部)の山崎八幡宮から神様をお迎えして山崎八幡宮と改称。貞和年間(1345～1350)に火災に遭い、延文6(1361)年伊予守護の河野氏によって現在地に移され社殿が新築された。慶長8(1603)年、松山藩初代藩主加藤嘉明は、松山城築城の際、城の守護神として松山城周辺の八社八幡を選び、ここを六番社として敬った。藩主が城より西方を眺めた際、神社本殿の瓦が朝日に輝いているので社名を朝日にせよとの奨めがあったが、その後も慣れた旧称と呼ばれていた。正式には明治3(1870)年、朝日八幡神社と改めた。社殿は明治20(1887)年火災で焼失したが、その後平成3年に新築された。本殿の大唐破風、拝殿正面上にある鳳凰、右側上の「松と果ごもり鷹」、左側上の「松と鷹」

の彫刻を觀賞する。松前町神崎にある伊予神社と同じ長州大工(周防大島からの出稼ぎ大工)門井友祐の素晴らしい彫刻である。次号に続く(宮内祐記)

【参考文献】『朝日八幡神社御由緒』



1 朝日八幡神社神門
鳥居からならだかではあるが、130段の階段が続く。春には桜並木が迎えてくれる



2 朝日八幡神社
日本で一番多い神社が八幡神社で、武運の神様として信仰されてきた。
加藤嘉明は勝山八幡宮を山北に奉遷するとともに、湯月(伊佐爾波)・桑原・日尾・正(雄郡)・日招・山崎(朝日)・遠熊・勝山(阿沼美に合祀)の八社を八社八幡宮と定めて崇敬した

10月の歴史散歩は実施しません。

松前史談会(麻生) ☎ 090-4472-8136

community learning center 公民館 だより

北公民館 「出てこい!ミライアーティスト」開催

毎月順番に活動内容をお届け!

【開館時間】 9時～22時 【休館日】 12月28日～1月4日
◆東公民館 神崎 210 ☎ 984-1159 FAX 984-1457
◆西公民館 北黒田 966-2 ☎ 984-5313 FAX 984-5313
◆北公民館 昌農内 456-1 ☎ 984-7529 FAX 984-9398

8月6日(水)、8日(金)の両日、親子参加型のアート教室「出てこい!!ミライアーティスト」を開催し、岡田小・中学校の児童・生徒とその保護者など、24名が参加しました。

愛光中学・高校の美術講師の渡邊博明先生を迎え、1日目は、アイスの棒を好きに組み立てて作る「スティックランプシェード」を作成しました。各々が試行錯誤し、世界に一つだけの作品を完成させました。2日目は、自分の選んだ小石が何に見えるか考え、小石に着色してイメージ通りに命を吹き込む「小石のアート」をしました。可愛い動物や美味しそうな食べ物など、多くの作品が完成しました。

自分で考え、制作する様子はまさにアーティスト。夏休みに素敵な体験ができました。



①スティックランプシェードを制作中
②完成した作品で記念撮影

Let's Enjoy Books

ふるさと ライブラリー

◆開館時間 9時30分～19時
◆問い合わせ ☎ 985-4140
FAX 985-1386
<https://www.i-masaki.jp/library/>
◆10月の休館 31日(金)

今月のおはなし会は、まさき文化祭での「おはなしフェス」です。

◆新着本 紹介

毎週新しい本を入荷し、随時、新着本コーナーに展示しています。貸し出し状況、予約状況はお問い合わせください。

▶ パパたちの肖像
外山薫ほか・著
光文社



紛失したトミカをミステリー仕立てで描いた「世界で一番ありふれた消失」など。令和の家族の実像が浮かび上がってくるような、7人のパパ作家によるアンソロジー。



▶ 記憶するチューリップ、譲りあうヒマワリ
ゾーイ・シュランガー・著
早川書房

トマトは水分が不足すると音を出す。トウモロコシは虫に食べられるとその虫の天敵を呼ぶ。目も耳もない彼らがなぜそんなことを知っているのか、「脳なき知性」の謎に迫る1冊。

▶ 翠雨の人
伊与原新・著
新潮社



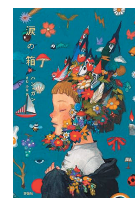
「雨は、なぜ降るのだろうか?」素朴な疑問を抱いたことから理系の道を選んだ猿橋勝子。戦後、ビキニ水爆実験による放射能汚染の測定にたずさわリ、核実験の抑止に影響を与えた彼女の生涯を描く。



▶ 数学ガール リーマン予想
結城浩・著
SBクリエイティブ

「僕」と4人の少女が、数学最大の未解決問題「リーマン予想」に挑む、数学青春物語、堂々の完結編。数学的概念などは作品内で丁寧に解説しているので、数学に詳しくなくても楽しめるシリーズ。

▶ 涙の箱
ハンガン・著
評論社



昔、ある村にひとりの子どもが住んでいた。その子は、みんなが予測も理解もできないところで涙を流した。ある日、涙を集めているという男が現れて…。ノーベル文学賞作家による大人のための童話。



▶ そくそくきうき
ハロウィン
モーア・グラーフ・絵
フリーダ・ナエミ・パースン・文・著
ほるぶ出版

今夜はハロウィン!おぼけの格好でかけよう。町の様子がなんだかいつもとちがう?そして夜中の12時には…。はじめてのハロウィンをたっぷり楽しむ絵本。